

2020年12月14日

国内最大の不動産投資サイト「楽待」 不動産投資に特化した Q&A サービスを 2021 年春提供開始

「楽待不動産投資相談室（仮）」で先輩大家や専門家に無料で相談

■本リリースのポイント

- ・不動産投資の悩みを先輩大家や専門家に相談できる新しいサービスを来春にリリース予定
- ・利用は完全無料。楽待サイトに会員登録すれば、自由に質問および回答をすることができます
- ・不動産投資に関する疑問を解決できる場を提供し、誰もが安心して不動産投資できる環境を創ります



国内最大の不動産投資サイト「楽待」 (<https://www.rakumachi.jp>) を運営する株式会社ファーストロジック（本社：東京都千代田区、東証一部上場、証券コード：6037）では、新サービス「楽待不動産投資相談室（仮）」を 2021 年春にリリースする予定です。本サービスは、不動産投資に特化した Q&A サービスです。情報の非対称性が問題視される不動産業界において、楽待サイト上で自由に質問できる場を用意することで、誰もが安心して不動産投資ができる社会の実現を推進してまいります。

■不動産投資に特化した Q&A サービス「楽待不動産投資相談室（仮）」とは

経験豊富な不動産投資家や多様な専門家に対し、不動産投資に関する質問や相談ができる Q&A サービスです。サービスの利用は完全無料、楽待に会員登録をすれば誰でも質問および回答が可能になります。不動産投資初心者がつまづきがちな初歩的な内容から、複数棟を所有する不動産投資家でも判断に悩むような込み入った内容まで、幅広いジャンルの相談をすることができます。



※画像は開発中のものです

■サービス開発の背景

これまで楽待では、楽待新聞での取材などを通じ、多くの不動産投資家からさまざまな失敗談を聞いてきました。投資した物件も投資額もそれぞれ異なりますが、失敗した投資家に共通していたのは、「不動産会社から聞いた話を鵜呑みにしている」という点でした。

では、なぜ他人の言うことを鵜呑みにしてしまうのか？その背景には、不動産投資に関する疑問を解決する手段が限られていることがあると思います。大家仲間や不動産会社に相談するという方法もありますが、相談できる仲間を作るのは簡単ではなく、また不動産会社などの利害関係者に相談しても正しい回答を得にくい現状があります。

そこで、身近に不動産投資の相談ができる人がいなくても、疑問を解消できるサービスが必要だと考えました。利害関係にない専門家や不特定多数の不動産投資家からの意見を聞くことで、特定の意見に偏らず、適切な投資判断ができるようになって考えております。

■今後のサービス展開について

より多くの専門家や不動産投資家の方々に利用していただけるよう、サービスの利便性を向上し、不動産投資に関する悩みを抱えているユーザーを、力強くサポートできるようなプラットフォームを目指します。

【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、利用者数・掲載物件数・使いやすさNo.1(*)の不動産投資サイトです。全国4400社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを無料で発信。公式YouTube「不動産投資の楽待 [RAKUMACHI]」はチャンネル登録者数16.6万人、総再生回数は3300万回にのぼります。（2020年12月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン上で会話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。これらのコンテンツは、iOS・Androidの楽待公式アプリからもご利用いただけます。

今後も「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証1部（証券コード：6037）

本社：東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー33階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当：尾藤（びとう）

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6706-4730

E-mail：rakumachi@firstlogic.co.jp

* 『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2019年6月）、
『利用者数 No.1』：自社調べ（2019年4月）、
『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2020年10月）